

L01 確率変数の和

樋口さぶろお <https://hig3.net>

龍谷大学 先端理工学部 数理・情報科学課程

多変量解析☆演習 L01(2021-09-30 Thu)

最終更新: Time-stamp: "2021-09-29 Wed 20:26 JST hig"

今日の目標

- 確率変数の和の確率関数, 確率密度関数を求められる



2次元離散型確率変数の和

Quiz(2次元の離散型確率変数の同時分布と周辺分布)

2次元の離散型確率変数 X, Y の同時分布 $p(x, y)$ が次の表で与えられる

$x \backslash y$	1	2	3
4	4/32	8/32	16/32
5	3/32	1/32	0

確率変数 $S = X + Y$ の確率関数 $p_S(s)$ を求めよう.

$S = X + Y$ の確率関数 $p_S(s)$ は?
 確率 $P(S = s) = p_S(s)$ となるべき.

$$\begin{aligned} P(S = s) &\stackrel{\text{定義}}{=} \sum_x \sum_y \mathbf{I}_{[x+y=s]}(x, y) p(x, y) \\ &= \sum_{x=-\infty}^{+\infty} p(x, s - x) \end{aligned}$$

特徴関数 $\mathbf{I}_{[\text{ナントカ}]}(x)$ は、ナントカが成立するとき 1, しないとき 0.
 母期待値 $E[g(S)]$ を $p_S(s)$ で求めたものと、 $E[g(X + Y)]$ を $p(x, y)$ で求めたものは同じ.

和の確率密度関数

離散型確率変数 X, Y の同時分布 $p(x, y)$ のとき、和 $S = X + Y$ の確率関数は、

$$p_S(s) = \sum_{-\infty}^{+\infty} p(x, s - x).$$

2次元連続型確率変数の和

$S = X + Y$ の確率密度関数 $f_S(s)$ は?

確率 $P(c \leq S < d) = \int_{-\infty}^{+\infty} I_{[c \leq s < d]}(s) f_S(s) ds$ となるべき.

$$\begin{aligned} \text{左辺} &\stackrel{\text{定義}}{=} \iint_{-\infty}^{+\infty} I_{[c \leq x+y < d]}(x, y) f(x, y) dy dx \\ &= \iint_{-\infty}^{+\infty} I_{[c \leq s < d]}(s) f(t, s-t) ds dt \quad \text{変換 } s = x + y, t = x. \quad |J| = 1 \end{aligned}$$

よって, $f_S(s) = \int_{-\infty}^{+\infty} f(t, s-t) dt$.

($c = -\infty$ において累積分布関数 $F(d) = P(S < d)$ で話すことも)

和の確率密度関数

連続型 X, Y の確率密度関数: $f(x, y)$. 和 $S = X + Y$ の確率密度関数は,

$$f_S(s) = \int_{-\infty}^{+\infty} f(x, s-x) dx.$$

たたみ込み convolution

和の確率密度関数

連続型確率密度関数が独立で、 X, Y の確率密度関数 $f(x, y)$ が $f(x, y) = f_X(x)f_Y(y)$ と書けるとき、和 $S = X + Y$ の確率密度関数 $f_S(s)$ は、

$$f_S(s) = \int_{-\infty}^{+\infty} f_X(x)f_Y(s-x)dx.$$

この右辺の積分を、2つの関数 $f(x), g(y)$ のたたみ込み合成積 convolution といい、 $(f * g)(s)$ と書くことがある。

合成積 $(f * g)$ のフーリエ変換は、 f, g のフーリエ変換の積

フーリエ解析

L01-Q1

Quiz(2つの連続型確率変数の和の分布)

連続型確率変数 X, Y は独立で, 同分布 $U(1, 7)$ にしたがう. すなわち確率密度関数は

$$f_X(x) = \begin{cases} \frac{1}{6} & (1 \leq x < 7) \\ 0 & (\text{他}) \end{cases}$$

和 $S = X + Y$ の確率密度関数を求めよう.

L01-Q2

Quiz(2つの連続型確率変数の和の分布)

連続型確率変数 X, Y は同時分布

$$f(x, y) = \begin{cases} \frac{1}{18} & (0 \leq x < 6, 0 \leq y < 6 - x) \\ 0 & (\text{他}) \end{cases}$$

にしたがう.

和 $S = X + Y$ の確率密度関数を求めよう.